

## 令和4年度第7回市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：地域が抱える課題

<b>【日 時】</b> 令和4年7月29日（金） 18時25分 ～ 19時40分
<b>【場 所】</b> 市役所本庁舎
<b>【出席者】</b> ○篠崎市長 ○地区代表者（5名） 厚南地区コミュニティ推進協議会会長 : 松永 茂夫 厚南地区自治会連合会会長 : 三戸 和寿 厚南小学校PTA前会長 : 大橋 勉 厚南地区体育振興会副会長 : 西村 康子 厚南地区自主防災会副会長 : 木藤 昭仁 ○総合政策部長 ○事務局（広報広聴課、厚南ふれあいセンター、地域支援員）
<b>【意見交換・懇談】</b>
<b>○日常使い可能な広場や公園の設置、通行時の安全確保や整備について</b> <b>【コミュニティ推進協議会会長】</b> ・コミュニティ推進協議会主催で、「東京まで歩いてみよう！」と題してウォーキングイベントを開催している。ウォーキング中に休息する場所や公園がないので、設置してほしい。 ・横断歩道が少ない。設置基準に不明な点があるので、設置基準を知りたい。 ・国道、県道、市道、生活道路等、全体的に道路の状態が悪い。横断歩道とあわせて整備してほしい。 <b>【市長】</b> ・JA 山口県厚南支所前交差点の右折レーンは、県道のため県の整備方針が決まらなると市単独では整備できない。必要性は感じており、県に急ぐように依頼している。 ・道路の凸凹など状態が悪いところについては、道路整備課へご連絡いただきたい。 ・横断歩道の設置については公安委員会へ要望を提出する必要がある、個別に具体的な場所を教えてください。 ・道路の白線が消えているところに関しては、予算を確保し順次対応中である。 <b>【コミュニティ推進協議会会長】</b> ・鍋倉の踏切がある通りの道幅が狭い。 <b>【市長】</b> ・県は、今後両側に歩道を整備し、拡幅することを検討中である。 <b>【厚南地区自主防災会副会長】</b> ・防災の観点から、電線の地中化はできないか。 <b>【市長】</b> ・必要性の高いところから対応しており、莫大なコストがかかるのでなかなか難しい。

## ○地域公共交通の確保、渋滞緩和について

### 【厚南地区自治会連合会会長】

- ・市と JR で連携して鉄道を存続させてほしい。
- ・渋滞緩和や地域交通の確保に効果があると思うので、主な利用者である高校生にアンケートを行う等して存続させてほしい。
- ・市西部地域の道路混雑が激しい。渋滞緩和に向けた対策をお願いしたい。

### 【市長】

- ・全国及び中国市長会、山口県市長会等でも鉄道の存続は共通の大きな課題である。
- ・高校生へのアンケートについては現在実施しており、ニーズを把握し、ダイヤ改正等の参考にしている。
- ・「まちじゅうエヴァンゲリオン」では多くの集客があり、今後も利用客を増やしていきたいと考えている。
- ・自家用車通勤については、山口市ではノーマイカーデーに公共交通機関の半額券が配布されており、宇部市でも何かできないか検討していきたい。
- ・若い世代からバスの乗り方がわからないという意見があった。この夏休みに中高生対象に、交通系 IC カードを利用した 100 円バスの運行を実施している。
- ・データを分析して、ノーマイカーデー、バス・電車の利用促進をすすめ、CO2 削減につなげていきたい。

### 【コミュニティ推進協議会会長】

- ・全て 100 円バスにしてはどうか。

### 【市長】

- ・100 円バスを実施しているのは、大きな自治体が多い。バスに乗らないのは、料金が  
高いからなのか、乗り方が面倒だからか、自動車の方が安い、便利だからか。バスに  
乗らない理由を分析し、検討していきたい。

### 【厚南小学校 P T A 前会長】

- ・郊外に何か所か拠点を立てて、パークアンドライド等に取り組めば、自家用車通勤が  
減り渋滞緩和となる。

### 【市長】

- ・現在の公共交通の計画では、中心市街地、フジグラン、ゆめタウンを拠点として考え、  
各地へバスを運行している。パークアンドライドの考え方については、今後の参考に  
させていただきたい。

## ○子ども会への加入促進、地域のつながりの確保について

### 【厚南小学校 P T A 前会長】

- ・加入率が低下している。加入促進をしたいが新 1 年生の把握ができない。
- ・新 1 年生を把握するため、市にプレゼントを準備してもらい、自治会か子ども会から  
手渡しでお祝いの品を渡したい。そうすることで、新 1 年生の把握ができ、子ども会  
への加入意向を伺うことができる。将来的な自治会活動の担い手確保につながるの  
ではないか。

#### 【市長】

- ・令和4年度に地区子連として組織されているのは15地区で、児童の加入率は16%と低い。共働き世帯が増えていることが要因のひとつで、保護者が活動に参加できないということがある。市子連と子ども会のあり方について引き続き協議する。
- ・子ども会に入らない理由等をしっかりと把握していくことが必要である。仮入学時に子ども会への勧誘等が可能か、教育委員会に確認する。
- ・市から市子連に助成しているため、プレゼント等の予算については、まずは市子連にご相談いただきたい。
- ・地域活動の担い手不足対策の一つとして、「地域活動の日」の策定を進めている。地元企業のノー残業デーに合わせて地域活動ができるように、商工会議所と協議を重ね、方向性について大筋で納得いただいたところである。今後、「地域活動の日」策定に向け、自治会長、コミュニティ推進協議会会長等のご協力をお願いしたい。
- ・担い手不足のもうひとつの原因は、定年延長により仕事を継続する方が増えたこともある。そのため、現役世代から地域活動に親しんでいただける環境整備もすすめていかなければいけない。

#### 【厚南小学校PTA前会長】

- ・市から子ども会へお金を出すために市子連を通すとなると、市子連に加入している子ども会が減少しているため、お金を出すのが難しくなるのではないかと懸念している。

#### 【市長】

- ・子ども会の体制を、時代の変化に合わせてリニューアルしていく必要がある。

### ○子どもの外遊び、避難場所について

#### 【厚南地区体育振興会副会長】

- ・厚南は、子ども達が安心して外遊びができる場所が不足している。厚南体育広場奥に残る圃場を公共用地化し、子どもの遊び場として整備していただくとありがたい。また、小学校運動場の遊び場、ふれあいの場としての利用拡大や、小学校の一部、例えば、なかよし広場の芝生化をお願いしたい。子ども達の外遊びができる環境の整備と併せ、地震等災害時の避難場所や災害ゴミの仮置き場として活用してもいいのではないかと懸念している。
- ・子どもの外遊びをサポートする体制の整備として、子どもの外遊びサポーター制度の創設、スポーツ推進委員の協力をいただき、昔からの外遊びや集団遊び、ニュースポーツ事例集や安全確保策の作成、学童保育との連携、けが等の補償制度等の整備を行ったらいけないかと懸念している。

#### 【市長】

- ・市長就任以来、厚南エリアに子育ての拠点になる公園を探しているところだが、直面している壁が、場所がないこと。安心安全に外遊びができる広場に、厚南の災害リスクを考慮して防災機能を備えた防災公園にしてはどうか。今後、厚南4地区への防災公園設立協議会のようなものを立ち上げて、一緒に検討していきたい。

#### 【厚南小学校PTA前会長】

- ・災害時の避難を考えたときに、立体駐車場を整備すれば、低い土地であっても一時的に避難ができる。

**【市長】**

- ・立体駐車場もひとつの案として考えたい。

**【厚南地区自主防災会副会長】**

- ・立体駐車場については、浸水地域住民にとっては自動車の避難にもなる。

**【市長】**

- ・現時点での自動車の避難は、小中学校のグラウンドを解放する等検討していきたい。
- ・子どもの外遊びについては、スポーツコミッションで専門家等を派遣している。この活動資金については、地域計画に盛り込むことにより、地域創生事業助成金の対象となるので、地域のコミュニティ団体で協議の上ご活用いただきたい。
- ・学校での遊び場については、学校の運動場、体育館は地域に開放しているのでご活用いただきたい。
- ・学校の芝生化は過去に実施したが、維持管理する保護者がいなくなると、それをすべて学校が行うことになるため、校長会としては実施に消極的である。学校運営協議会や地域と一緒に持って持続可能な仕組みがあればできるかもしれない。

**○逃げ遅れゼロに向けた取組と安全な避難場所の確保について**

**【厚南地区自主防災会副会長】**

- ・令和3年度に防災・減災に関するアンケートを全世帯対象に実施した結果、厚南小学校、厚南市民センターへの避難が大多数で、受入可能人数の限界を大幅に越えることが予想される。また、実際に大きな災害が発生した際には、地域の特性に合った避難を考えていかないといけない。どのように準備をするべきか検討いただきたい。

**【市長】**

- ・避難訓練や勉強会等の開催については、防災危機管理課にご相談いただきたい。
- ・危険箇所については、引き続き自主防災会や地域の方にもご協力いただき確認していく。避難場所等は市ウェブサイトにも掲載するが、それを各自が見て確認していただくことが大事である。
- ・避難所でのペットへの対応については、他の避難者とトラブルにならないように、屋根のある屋外や別室で対応する等、個別に対応している。

**【厚南地区自主防災会副会長】**

- ・防災危機管理課や地域福祉課だけでは、対応が行き届かない部分があり、厚南市民センター所長、厚南会館館長にも、場所の提供だけではなく、本庁と連携をとって、マニュアルを作成する段階から携わる必要があるのではないかと。また、市職員だけでなく誰でもわかるようなマニュアルを作成していくと良い。

**【市長】**

- ・災害時には職員が責任者として関わっていく必要がある。制度も含めて検討する。

**【厚南地区自主防災会副会長】**

- ・高校生になると地域との関係性がなくなってしまう。これでは将来地域の維持も困難になると思うので、そうならないための仕組み作りが必要である。自分の地域に関心を持ち、自分の役割を果たしていこうという心を育てることも大切である。
- ・内水氾濫による危険箇所のマップ化について、行政の情報が必要であり、市と一緒に進めていきたい。

**【市長】**

- ・ 市政懇談会や高校生議会において、高校生が市へ直接提案する機会を作り、自分たちが言ったことが反映されてまちを作るという経験をしてもらっている。
- ・ 高校でもコミュニティ・スクールの取組を県教育委員会がはじめている。
- ・ 市でも高校や大学の窓口となる連携共創推進課を作ったので、地域のイベント等で高校等へアプローチをする場合はご相談いただきたい。
- ・ 内水氾濫による危険箇所のマップ化については、一緒に進めていきたい。